

## 「脚下照顧」！＜朝礼講話（教頭先生）＞

今から見せるこの字は、何と読むか分かりますか？この字は、「脚下照顧（きゃっかしょうこ）」と読みます。以前中学校の先生をしていた時に、弓道部の顧問をすることになりました。その弓道部は錬成館というところで練習をします。その錬成館の玄関にこの文字を書いた札がありました。

この「脚下照顧」の意味は、「足元を見なさい」ということです。先生は初め、「靴を揃えなさい」という意味で、錬成間の玄関にあるのだと思っていました。でも、自分が弓道を少しだけ習ったり顧問として指導したりする中で、この言葉の意味を違って感じるようになりました。練習をしていると、初めは人のことが気になって、「もっとこうの方がいい」とか「あそこがダメだ」とか思っていたのですが、「自分はどうか？」、「できているの？」と思うようになりました。つまり、「どんなことも自分のことを見つめ、今よりももっと上を目指すように自分を高めなさい」という意味に思えてきたのです。

今、運動会の練習でそれぞれが役割をもって取り組んでいますね。この「脚下照顧」の言葉を思い出して、自分を振り返りながら、お互いに高め合えるといいと思います。



あいち・読書タイム文庫の新刊が発刊されました。

「カフンチョウ」（小学校1～3年、園児向け）

「バトンをつなげ！」（小学校4～6年、中学生向け）

詳しくは、チラシ（申込書付）をご覧ください。

短編で読みやすい！  
低学年はふりがなつき！



## 誘われたら断れますか？！＜薬物乱用防止教室（6年）＞

学校薬剤師の柳先生を講師に迎え、6年生を対象に「薬物乱用防止教室」を行いました。薬は病気を治したり、健康を管理したりするために使われますが、使い方を誤れば体に害を及ぼします。最近では、東海大学の学生が薬物を使用したという報道がありました。薬物が身近な存在になりつつあります。後半では、言葉巧みに薬物を売りつけようとする八代先生の誘いをどうやって断るか、代表の児童でロールプレイをしてみました。八代先生の名演技に断るのも一苦労でした。大丈夫かな？



## 子どもが主役の授業にするために！＜研究授業＆研修会＞

本校では、子どもたちが主体的に取り組む意欲を高め、考えを進んで表現できるようになるために、算数を中心に授業の工夫に取り組んでいます。今回は、愛知教育大学准教授の青山和裕先生を講師に迎え、3年生の算数の授業実践をもとに授業づくりのポイントをご指導いただきました。研修会では、本校の取組や先生方の日常の取組に対して、適切なアドバイスをいただきました。明日からの授業の方向性が見えた有意義な研修会になりました。

